



今年が高専創設50周年

都立産業技術高専名誉教授 吉田喜一

1962年（昭和37年）に高専制度が19校でスタートして今年50周年です。この間に約40万人の卒業生を社会に送り出しました。現在は国立51校、公立3校、私立3校の高専で約5万人の学生が学んでいます。国立高専機構等は8月に50周年記念高専教育フォーラム、10月に記念式典、記念シンポジウムを行いました。また日本機械学会誌4月号は特集『高専制度創設50周年』、さらに精密工学会誌4月号は特集『高等専門学校における技術者教育50年のあゆみとこれから』を組みました。

私自身も1968年旧都立航空工業高等専門学校・機械工学科の卒業生（2期生）です。卒業後旧通産省・重工業局重工業課に就職しましたが、その翌年高専に助手として戻りました。以来43年間高専にお世話になり、この3月末定年退職しました。現在非常勤講師を若干頼まれていますので、高専50年の歴史のうち48年間高専に関わってきました。

旧国専協（国立高専協会）は高専の目的を、発足当初（75年）は大学の解析型に対して総合型技術者を養成するとしました。後に（81年）理論先行型に対して実践的技

術者を養成すると標榜しました。

さらに（91年）Know Why型に対して Know How型

エンジニアを養成するとしました。最近ではNHK高専ロボコンのように課題解決型技術者を標榜しています。高専制度発足前のシンポジウム等を調べると高専はテクノロジスト、大学はエンジニア養成という発言もあり、また大学は工学を学ぶのに対して、高専は工学を学ぶという方もいました。

哲学的にそして技術的に対概念の一方を高専に他方を大学にあてはめています。この高専論については別途議論をしたいと思います。

私は今、高専50年の歴史と今後の展望をまとめています。高専論を含めて来年の機械学会等で発表すべく資料を整理しています。地域の皆様が高専をどのような目で見ているのかもお聞きしたいと思っています。その際はご協力をお願い致します。

ご愛読者様割引先着10名様まで

【祝 初春のパレード】

H25年1月12日（土）午前11時半・午後3時開演
サンパール荒川大ホール

甲斐京子ダンス&ソング（松竹歌劇団出身者による）

第一部 甲斐京子の歌の世界

愛のスタンダードナンバー・シャンソン・昭和の歌

第二部 レビューショー

S席3500円→3000円 A席2000円→1500円

お申込みTEL (3895) 3166 Fax (3819) 4010

甲斐京子事務所 富里迄



三重県四日市市 ローカル線と旧・東海道の旅

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウウ代目です。今回は、久しぶりに旅のお話です。

12月12日の朝、宿泊した名古屋のホテルを出た私は、近鉄線で四日市へ向かいました。四日市という工業地帯を思い浮かべ、ぜんそくや公害といった高度成長期の負のイメージを連想する方も少なくない（以前は、私もそうでした。）と思いますが、古くは東海道五十三次の第43番目の宿場町として、陸・海の交通が頻繁で、幕府の天領でもあり、諸国物産の集散地として栄えた歴史ある町でもあります。

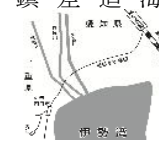


近鉄四日市駅はデパートも併設された立派なターミナル駅ですが、高架下の片隅から、同じ近鉄線でありながらひとときわぶりな電車が発着しています。内部（うつべ）・八王子（はちおうじ）線と言い、左右のレールの幅が762mm（昔の軽便（けいべん）鉄道規格。ちなみに新幹線は1435mm、JRの在来線は1067mm、都電は1372mm。）しかない、極めて珍しい路線として知る人ぞ知る存在です。車両の幅も都電と同じくらいなので、向かいの座席の人との距離が妙に近く、間に人がやっと一人立てるかどうかというユニークな車内空間です。路線の全長は7キロ、3両編成の電車が学生やお年寄りを乗せてのんびり走っています。聞けば、最初に開業してから、今年

でちょうど100年ということでした。

私は、まず終点の内部駅まで試乗し、駅に併設された小さな車庫や駅周辺の様子を観察して、いつものように郵便局で「旅行貯金」をしてから線路沿いの道をぶらぶら歩いて戻ることになりました。

内部線に沿っている曲がりくねった道には、古式ゆかしい日本家屋が多く目に付きます。それもそのはずで、ここは旧・東海道の道なのです。「日永（ひなが）の追分（おいわけ）」という二又の交差点には、伊勢神宮の二の鳥居が鎮座していました。ここは、東海道と伊勢道の分岐点にあたり、歩いて旅した当時は茶屋が並び繁盛したそうです。更に進むと、味噌・醤油の蔵元や、伝統工芸品の「日永うちわ」の店があったり、古い松の木や道標が残されていたりして、江戸時代に思いを馳せながらの楽しい街道歩きとなりました。



残念ながら、内部・八王子線は、老朽化と乗客の減少により、バス転換が噂されています。ご興味のある方は、お早めに来訪されるようお勧めします。

【消費生活アドバイザー】

佐藤 祐一郎



■メガネのサトウ■
南千住5丁目43の13【コツ通り】

TEL 03 (3806) 4930

★年末・年始休業日のご案内★

12月30日（日）～1月4日（金）は、年末・年始休業とさせていただきます。どうぞ、お早めにご用命下さいませ。

【新年は5日（土）より営業します。】

★営業時間のご案内★

平日（月～金）：AM 9時30分～PM 7時

土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時